

電車の旅・将来への旅

平成筑豊鉄道で「就活列車」を開催

10月28日、平成筑豊鉄道の田川伊田ー直方間で、高校生に沿線企業を紹介する「就活列車」が運行されました。

これは、田川公共職業安定所と福岡労働局が主催する就職意欲の向上や地域の活性化を図る取り組みで、今回で5回目。田川科学技術高等学校、東鷹高等学校、西田川高等学校、福智高等学校から1・2年生約50人が参加しました。就活列車は、平成筑豊鉄道の本社がある福智町の金田駅ホームから出発。車内では、本市や福智町などの製造業や福祉施設など23社のパンフレットが配布され、そのうち6社が、企業概要や仕事内容を説明しました。生徒たちは真剣な眼差しで説明を聞き、仕事の内容や福利厚生などを質問しました。



▲地元企業の説明を、メモを取りながら熱心に聞く高校生

目指すのは、中小企業が元気に活躍するまち

中小企業振興ビジョン報告会

11月12日、田川青少年文化ホールで「田川市中小企業振興ビジョン報告会」が行われ、約160人が参加しました。

この報告会を主催した、商工団体や金融機関などで組織する田川市産業振興会議（中山英敬会長）は、一昨年に市内企業2014社にアンケート調査を実施。集計や分析をもとに「田川市中小企業振興ビジョン」を策定しました。報告会では、同ビジョンを二場公人市長に提出し、来場者に内容や今後の方針を説明。「中小企業経営者が経営の基本を学ぶ場の開設」「地域で若者を育て地域に若者を残す活動」などを含むビジョン実現に向けた4本の柱、企業・市民・学校・行政などでつくる地域内経済循環の必要性などを示しました。



▲ビジョンの実現に向け連携・協力を呼びかける中山会長

鈴木ナオミさんが成果を携え帰国

山本作兵衛炭坑記録画ワールドツアー

イギリス・ロンドンを拠点に活動する歌手の鈴木ナオミさんは、本市出身の「たがわ魅力向上大使」として昨年9月から「山本作兵衛炭坑記録画ワールドツアー」を開催。11月5日に市役所を訪問し、イギリスのビッグピット国立石炭博物館や在英日本大使館などでの展示会の様子、現地の反響などを二場市長に報告しました。

鈴木さんは、同国では産業革命を支えた炭坑で働いていたことを誇りに思う炭坑労働者や家族が多いことに触れ「田川の人たちにも、故郷に炭坑があったということに誇りに思ってもらいたい」と語りました。同ツアーは本年も続いており、アメリカ・ニューヨークでも展示会が開かれる予定です。



▲市役所でイギリスでの展示会の様子を紹介する鈴木さん